

64 兄弟の仲直り（口）

井戸があつたからさ。畑の前にとうもろこしなんか植えてある、野菜植えてあるけど、毎日これを、野菜切るからと思つてさ、殺しに行ったから、鰻であつたて。鰻。鰻だけだね、夜だからね。

大きい井戸があつたそうですよ。鰻がいるところさ。まあ言えばね。あつたから、こつちのほうの、とうもろこしのことをとうぎんて言つたね、とうぎん。とうぎん食べよつたつて。

「毎日こんなんして食べるから殺しとけよ」と言つて、行つたからさ。鰻、大きい鰻だから殺したつて。それで、もう殺したから見ないでさ、逃げてきた。友達に行つてさ、「人、殺してあるから、いっしょに片付けてきよう」と友達に言つたそうですよ。だからあの、大きい鰻だった。だから友達にさあ、

「うち、人殺してあるからいっしょに片付けてきよう」つて言つたからさ、

「いいえ、わたし、人殺したの担いできたらわたしもおんなじねえ、罰当たるから」つて言うていやがつたつて。友達はよ。

もう仕方がなく、仲の悪い兄弟に言つたから、「大変だねえ。いっしょに早く、人が見ないうちに片付けてきよう」つて、いっしょに兄弟が片付けに行つたから、いくら何言うたつて兄弟はね、仲良くはなくても兄弟は兄弟だねつていう話があるさ。

字真栄平 喜納サト